

みなと区議会だより

Ⓜ No.175 2008年(平成20年)11月11日

港区議会 / 〒105-8511(専用郵便番号)港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

平成19年度一般会計ほか各会計決算を認定

事故米問題の全容解明と米の流通管理の徹底等を求める意見書提出



▲みなと区民スポーツ・体育祭(10月13日)

第3回定例会 会議日程

9月18日	運営委員会・本会議	9月29・30日及び10月1・2・3・6・8日	運営委員会・本会議
22・24日	4常任委員会	9月29・30日及び10月1・2・3・6・8日	4常任委員会
19日	運営委員会・本会議	10月1・2・3・6・8日	決算特別委員会
10日	運営委員会・本会議	9日	運営委員会・4常任・4特別委員会

目次

表紙・概要	1
代表・一般質問	2～4
請願・意見書	
委員会の活動	5
決算特別委員会	6～7
審議結果	8

平成20年第3回定例会は、9月18日から10月10日までの23日間にわたって開会されました。

はじめに、8人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は「港区の今後の財政状況を踏まえた施設整備について」、「地上テレビ放送のデジタル化の支援策について」、「子育て環境の整備と『まちづくり』について」、「国の悪政から区民のくらしを守る区政への、根本的な転換を」、「地域の実情に応じた絶対高さを制限を！」など区政全般にわたりました。

平成19年度の一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計及び介護保険会計の各決算は、

全議員による特別委員会を設置して審査し、いずれも賛成多数で認定しました。

そのほか、区長から提出された案件を審議した結果、条例など39件・補正予算2件を原案どおり可決しました。

みなさんから提出された請願は、6件を採択、1件を不採択とし、7件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書及び要望書7件を可決し関係機関へ送付したほか、港区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例を否決し、3件を継続審査としました。

追加提出された人事案件は、教育委員会委員の任命について同意しました。

代表・一般質問

(要旨)

9月18日 19日

港区の今後の財政状況を踏まえた 施設整備について

自民党議員団

質問 サブプライムローンや原油

・原材料高の日本への影響が懸念される。今後の区政運営を考えると、新しく整備する区有施設について、計画段階から将来負担を小さくする努力や工夫が必要と思うがいかがか。

答弁 将来にわたり後年度負担に配慮しながら、施設整備費及びその維持管理コストの縮減を図ることは、財政運営上の重要課題。施設整備に当たっては、利用者の安全・安心とともに、環境負荷の低減に留意しながら、財政負担をできる限り少なくする手法を採用するよう、さらに努めていく。

区内在住外国人への施策について
質問 外国人納税者がたくさん住む港区として、外国人への施策、その子どもたちが通うインターナショナルスクールへの対応をどうしていくのか。

答弁 外国人に対するサービスを一層充実させるため、アンケート調査、外国人インターンによるインタビュー調査などにより、区政に対する外国人の要望やニーズの調査を進める。インターナショナルスクールを含めた外国籍の子どもの教育などについても、国際化推進プランの策定の中で幅広く検討していく。

学校選択希望制について

質問 学校選択希望制について

は、やる以上はもう少し教室を増やすなどして、受け入れ態勢を整えるべきではないか。

答弁 現行制度のもとで意欲と希望を持って学校を選択された子どもや保護者の期待に十分応えられるよう、教育環境の整備に努める。

高松宮妃癌研究基金のPRについて

質問 これまで高松宮様から港区

が受けたご恩は多大である。高松宮妃が残された高松宮妃癌研究基金に、港区として協力していくべきではないか。

答弁 この研究基金が、引き続き癌研究の進歩、発展に貢献し、多くの方々への治療に役立つよう、機会をとらえて周知していく。

高輪一丁目の宮内庁宿舎1号棟跡地の取得と整備について

質問 高輪一丁目宮内庁宿舎跡地

については、国から取得し、隣接の高輪一丁目児童遊園と一体で整備すべきではないか。

答弁 この用地を取得し、隣接する児童遊園と一体の公園として整備することを検討している。また、取得後の公園整備については、安全・安心して誰もが使いやすい公園となるよう、区民参画によるワークショップ方式などにより、区民のご意見を聴きながら進める。

今後の防災対策について

質問 ①地震対策として、区民の

中から多くの実動部隊が必要と思われるが、区としての考えは如何か。②区民が町会や自治会等の活動に積極的に参加し、防災活動につながるような地域づくりをすべきと思うが。

答弁 ①地域防災協議会とともに、地域で活動している団体等へ機会をとらえて、避難所運営の実動部隊として参加を働きかけ、避難所の運営訓練を実施する。②町会等への加入促進の働きかけをはじめ、地域活動の紹介などの情報提供や、区民参画組織による防災フォーラムの開催などの支援を行っているが、今後も防災活動につながる地域づくりに努める。

区内医療の実態・今後について

質問 ①医師会と総合病院の連携

など、病院の混雑緩和についての取組みについて。②救急車到着までに搬送先の病院を決定するなどの改善を東京消防庁へ要望すべきではないか。

答弁 ①医師会や病院などの関係機関と連携し、かかりつけ医療機能の推進を図っており、かかりつけ医制度が区民に浸透することにより、総合病院の混雑解消につながる。②東京都の救急医療対策協議会に参加している特別区の代表を通じ、救急搬送の迅速化に向け、東京消防庁に働きかける。

不妊治療助成について

質問 不妊については婚期の遅れ

などの社会現象の原因が挙げられるが、不妊治療費の助成をもっと拡大できないのか。

答弁 区の不妊治療助成制度は所得制限がない点や、助成額が全国的にも類を見ない水準にある。今後さらに区民のニーズを見極めつつ検討していく。

コミュニティバス路線拡大に向けた取組みについて

質問 区民の期待の高い新たなコ

ミュニティバスの導入について、今後の区としての取り組み方針はどうか。

答弁 「港区地域交通サービス取組方針」を素案として取りまとめ、区民の意見を伺った後、地域公共交通会議の場を活用しながら路線検討や合意形成を効果的に進める。平成21年度中には新たな路線での実証運行を開始できるように取り組む。

資源プラスチック回収について

質問 資源プラスチック回収の意

義を区民に伝え、より理解・協力を得るべきではないか。

答弁 住民説明会の実施や分別ガイドブックの全世帯への配布などによって、プラスチックの資源回収の意義と必要性を訴えてきた。引き続き、職員が出向いて説明する「だすと出前説明会」や戸別訪問などで協力をお願いしていく。

長寿医療制度における高齢者の不安や負担感の解消

質問 長寿医療制度の周知活動と

相談体制の確立は引き続きしっかりと行っていくべきであるが、いかがか。

答弁 引き続き相談体制を充実していくとともに、身近な医療機関等での無料健康相談の拡充や、経済的負担にも配慮した専用の保養施設の設置などの施策を検討する。

これからの区民参画のあり方について

質問 区長は「参画と協働」を基

調とした区政運営に取り組む意思を明確にされている。高い関心を持って区政に参画する区民を増やしていくための工夫は、

「創造的な地域社会」を実現するために、区民とともに地域の課題解決やまちの将来を議論し協働していく必要がある。区は参画意欲のある人や地域活動団体等とネットワークをつくり協働を進めることにより、活動の裾野を拡大し区政に参画する区民を増やす取組みを進める。

自治体間の連携について

質問 関係の深い自治体との間

で、人材交流までを見据えた提携等を模索してはどうか。

答弁 多くの自治体と災害応急対策の協定を結び、あきる野市とは環境の観点で自治体間協定を結んだ。また商店街等を中心にした交流事業が自治体間の連携に発展している。特に地元発意の取組みは住民や職員同志の交流を深め、地域の活性化や課題解決にもつながるため、今後も様々な機会を捉え地域同志の連携が効果的に進むよう支援する。

水辺の緑を増やすための取り組みについて

質問 ①芝浦運河沿緑地の整備手

法の多様化を。②田町駅東口北地区の公共施設に整備される「ひろば」と運河との一体性の確保を。③古川の川底、護岸の緑化に向けた取組みの推進を望むが区長の考えは。

答弁 ①運河沿いに公園や公開空地が隣接する場合には、積極的に一体的な整備を図り、区民が安らぎ憩うことのできるスペースの確保に努める。②広場と運河の一体性の確保は重要であり、そのための施設配置を区民の皆さんと検討している。③川底や護岸の緑化を含め、親水性や景観に配慮した古川の環境整

備を推進していくよう東京都に要望していく。

芝浦アンカレイジ展望室の積極的活用について

質問 ①長期的に有効活用してい

くための区長の方針は。②具体的な活用策についての考えは。

答弁 ①施設使用料の大幅な減額措置の適用など、継続的に活用する上で望ましい条件の設定に向け東京都と具体的な協議を開始している。今後、協議の進捗を踏まえ、この展望室を有効活用していくための方針を検討する。②イベントを実施し、本施設活用上の利点や課題を検証する。区民の交流や協働、港区の魅力や情報を発信する場としてのような活用策が適切か、この結果を踏まえ検討する。



芝浦アンカレイジ展望室の有効活用を

地域で教育委員会の存在感を高める取り組みについて

質問 地域と学校とが有機的に結

びついて、増大する学校現場の負担を共に担う。そんな姿を目指すために、教育委員会が自ら積極的に地域に向いて信頼関係を構築、教育についての方向性づくりのサポートをしてはどうか。

答弁 教育委員会では、学校を定期的に訪問し、さまざまな行事に出席するなど、教育現場の意

見や要望を聞く機会を大切にしている。今年度は、教育委員が学校の公開日に訪問し、PTA役員や保護者等との懇談を予定している。今後とも、教育委員会が地域と密接に連携して信頼関係を深め、教育施策の一層の向上が図られるよう努める。

「サマーライフにつくば」について

地上テレビ放送のデジタル化の支援策について

公明党議員団

質問 ①社会的弱者に対する支援を、区独自の対策を講じることも含め対応すべきと思うが。②区有施設のデジタル化対応を、どのように進める予定なのか。

答弁 ①国の支援策を十分検証し、区独自の施策も検討する。②状況を調査し、対応策を検討する。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」について

質問 「財政健全化法」の成立により、健全化判断比率を19年度の決算数値に基づき算定、監査委員の審査に付し、議会に報告した上で、区民に公表することとなったが①この法律を区として、どのようにとらえ、活かしていくのか。②事業や政策実施の効果に対し、事前検証や事後の行政評価を実施し、財源の効果的な活用を図る必要がある。

答弁 ①健全化判断比率を議会や区民にわかりやすくお知らせし、区財政の透明性を高め、区民参画による財政運営に努める。②今後も、さらに限られた財源の効果的な活用を努める。

質問 今夏、実施された「サマーライフにつくば」に対する評価と今後の取組みは。

答弁 子どもたちにとって、最先端の科学と豊かな自然を体験するよい機会になった。今後については、つくば市と協議する中に対応する。

総合支所制度における大学との連携・協働について

質問 ①各総合支所で得られた連携・協働の成果を、広く区民全体へ拡大すべきと思うが。②大学の持つ最新の知識・技術を職員教育に役立てることも、連携事業の一つと思うが。

答弁 ①様々な分野でその成果を享受できるよう努める。②大学の持つ最新の知識や技術を活かした職員の育成に取り組む。

環境配慮型プロポーザル方式について

質問 第二回定例会で環境配慮型プロポーザルの導入を提案し、区長は「導入を検討するの」と答弁、どの様に検討するのか。

答弁 環境に配慮した指針を、今年度末を目途に策定する。

水害対策について

質問 局地的な集中豪雨による浸水被害を防ぐためにも、万全な対策を講じることが必要。

答弁 水防訓練の実施や設備等の定期点検を徹底、職員による巡

視や通行止め等、迅速に現場対応できる水防態勢を強化する。

プラスチックリサイクルについて

質問 ①10月からの分別収集の周知を図ってきたと思うが、港区は約90%の住民が集合住宅で生活している。居住者に対し、どのように周知しているのか。②資源プラスチックの中間処理は区外の民間事業者が行っている。区内処理が望ましいと考えるが。③小中学校での環境学習が重要だが、教育長の考えは。

答弁 ①全世帯に分別ガイドブックを配布、出前説明会を実施している。②区内処理の検討を進める。③各学校で実践している環境を守る取り組みを継続するよう、今後も指導していく。



積極的な高齢者サービスの情報提供を

高齢者サービスの申請について

質問 65歳以上の一人暮らしや高齢者のみの世帯に特化したサービスチラシを作成、申請手続きの簡素化、申請のお手伝いをする。このような努力が必要。

答弁 リーフレットの作成、申請手続の簡素化などの改善に取り組む、地域の方々の協力を得ながら必要なサービス内容を届ける仕組みについて検討する。

脳卒中患者の治療とリハビリの地域連携ネットワーク構築を

質問 港区でも、医療、介護、行政が連携して、脳卒中の急性期から、回復期、維持期、在宅療養も含めた「地域医療機能のネットワーク化」特に急性期医療と切れ目のないリハビリテーション医療の確保の仕組みづくりが急務であるが、区長の見解は。

答弁 来年度改定の「港区地域保健福祉計画」で、脳卒中医療の連携体制の構築、在宅緩和ケア、周産期医療、糖尿病、急性心筋梗塞など、福祉サービスを含むネットワーク化の検討を進める。

学校のアレルギー疾患への取り組み

質問 ①「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が全国の教育委員会、学校に配布された。ガイドラインの活用について教育委員会の考えは。②平成14年・15年度学校給食が原因でアレルギー症状を引き起こしたケースは634件、内約50件が命を脅かす可能性があった。港区ではどのような対応をしているのか。また、学校給食の提供での対応は。③アレルギー疾患の子どもの中には、薬を持ってこなければならぬ子どももいる。適切な自己管理を行う観点から積極的に支援すべきと考えるが。④私立の取組みでは、あるクラスの生徒全員にぜん息の病態や治療の話をし、自己管理の大切さや、友達が困っていることを知ったら「支えてあげたい」との、共感の気持ちを持つたと報告された。こうした「健康教育」を行い、「共感する心」を育てることが必要と思うが教育長の考えは。

答弁 ①東京都では、連絡会を設

置し、ガイドラインを活用するため検討中、その検討結果を踏まえ対応する。②保健調査を実施し健康状態を把握。一人ひとりの症状に応じた対応をしている。学校給食は可能な限り、アレルギー反応を起こさせる食品を取り除く、除去食で対応。③

子育て環境の整備と「まちづくり」について/食の安全について

フォーラム民主

まちづくり条例を活用したまちづくりに関して

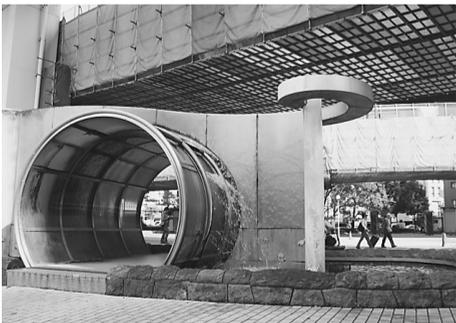
質問 「港区まちづくり条例」を活用したまちづくりが、区民発意と合意のもとに促進されるよう、区としては十分なバックアップをすべき。区の考えは。

答弁 区民参画の仕組みの活用を図る。このため、区民向けのパンフレットで周知を図り、まちづくり相談や専門家派遣、活動費助成など支援を実施する。

芝浦水再生センター再構築に伴う整備について

質問 ①地元要望が多いスポーツレクリエーション機能を持った公園や保育園、子どもの施設、また医療施設など都と話し合いを進めるべき。②工事中の公園内での安全確保について。③高輪地区と芝浦・港南地区を結ぶ東西連絡道路の整備を実施するよう、都に申し入れを。

答弁 ①公園整備と港南地区に必要な公共施設の整備を引き続き都に要望する。②工事に際し、安全確保に最善を尽くすよう都に要望する。③実現に向けて都等関係機関と調整していく。



一の橋(親水)公園の代替地について

古川地下調節池事業について

質問 ①7年間の工事の間、一の橋公園の代替地を区民に示すべきである。②工事終了後、地域の課題である駐輪場の設置を。

答弁 ①地元や関係機関とも調整を図りながら検討する。②一の橋公園の復旧に合わせた駐輪場

保護者と薬の自己管理や服薬の方法などを十分に協議。家庭と連携を密にする。④児童・生徒の発達段階に応じ、アレルギー疾患に対する理解と態度を育てるとともに、共感する心をはぐくんでいく。

質問 子育て支援施設、医療施設や病院等にも行けるよう地域交通ネットワークに組み入れるべきである。

答弁 総合支所、病院や商店街などの生活関連施設を組み入れる。食の安全確保について

質問 ①9月に入り、汚染された事故米を不正に販売したなど食消費者に必要な情報を区としてわかりやすく伝えるべき。②生産者から消費者までの品質管理体制や輸入食品の監視体制の充実強化を国に求めるべき。

答弁 ①賞味・消費期限、添加物等につき消費者懇談会や出前講座、街頭相談により情報提供し、食中毒に対しては啓発用のチラシ、違反食品等についてはホームページにより伝える。②都と連携協力し、製造過程全般にわたる衛生管理の導入と普及、輸入食品の監視体制の充実強化につき国に働きかける。

学童クラブについて

質問 ①学童クラブと放課GOは、子どもの遊び場を提供する場所では似ているが、学童クラブは働いている保護者とその子どもたちにとって、家庭の代わりとなる必要な施設。児童の生活の場となる学童クラブの機能を確保すべき。②学童クラブは今後入会数が増加する可能性があり将来的な見直しは。

答弁 放課GO内の学童クラブは児童館の学童クラブと同様の位置づけで施設・機能を維持している。②子ども中高生プラザの

代表・一般質問

新設や放課G0内の学童クラブの整備に合わせ、配置を検討。

性的マイノリティに関して

質問 ①国の「人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、性的少数者の人権についての人権教育・啓発の取組みを。②性的マイノリティの方々の多くは、その性的指向で差別された経験がある。区では差別や偏見の実態把握をしているのか。③職員研修の実施を。④学校現場での取組みについて。⑤保護者にも周知してもらう取組みを。

質問 ①子ども家庭支援センターに18年度39件、19年度39件の相談が寄せられ、そのうち身体的虐待はそれぞれ28件と55件である。区から児童虐待をなくすための区の取組みについて。②「子育てするなら港区」として、これまで多くの施策が展開されてきたが、子どもの権利に関する条例の制定に取り組むべき。

質問 外国人にも対応した区立学校の教育環境の整備について

境の整備についての検討は。最後に、原油高や原材料の価格高騰により影響を受ける中小企業・区民に引き続き対策を要望する。

国の悪政から、区民のくらし守る 区政への、根本的な転換を

共産党議員団



あいつぐ値上げで区民のくらしと経営が大変。緊急対策を急げ

質問 実態を把握し、相談窓口を丁寧に対応を行っている。質問 低所得者・高齢者・母子(父子)家庭・障がい者に「緊急援助手当」の支給を。質問 状況は様々。考えていない。質問 公衆浴場、クリーニング店、中小運送業者や、協同組合に燃料高騰分の補助実施を。

質問 ①福祉分野を中心に青年の雇用を。②違法労働行為をなくすための積極的な広報活動を。③ネットカフェ難民の調査を。

質問 ①新規採用を積極的に進めている。②国や都と連携し周知する。③国や都と協力していく。

質問 青年向けに①公営住宅の建設を。②家賃補助制度の創設を。③区の裁量ではできない。

質問 国にきつぱりと廃止求めよ。質問 必要な制度として創設されたもの。国に廃止を求めない。

質問 ①新たに課税された方への激変緩和措置を。②保険料引下げに準備基金の活用を。

質問 ①検討する。②来年度を目途に景観計画策定を目指す。

質問 ①協議中。②検討していく。質問 ①温室効果ガスの二〇二〇年30%削減の、中期目標確立を国に求めよ。

質問 「大量生産・大量消費・大量廃棄」経済のあり方の見直しを、大規模企業など関係機関に申し入れよ。

質問 60歳超が24棟。区内の建物高層化はとどまらない。

質問 ①区民と相談し絶対高さを制限導入を。②景観計画での抑制と地区計画による規制の設定を。

地域の実情に応じた絶対高さを制限を！今やらねば将来に禍根残す

みらい

質問 60歳超が24棟。区内の建物高層化はとどまらない。国の建築規制の緩和もそれを後押し。無秩序で決して美しいと言えないまちの姿。住民目線で課題に取り組むことは自治体の責務。絶対高さを制限導入を。

質問 ①来年度事業の拡大を検討。②ネットの貸与は困難。

質問 エレベーター停止時対策として①ゴンドラ内に応急防災用品の簡易トイレ・飲料水、懐中電灯入りキャビネットの設置を求め、費用に助成を。

質問 ①助成件数拡大等検討する。②建築主に配布しているパンフレットに今後は家屋調査に関する事項を記載する。

質問 コミュニティバスの必要性に異は唱えないが、採算性は事業実施の重要な条件。

質問 ①集合住宅における防犯設備設置助成事業が今年度初めて実施され、予定を上回る申込の結果53件が助成にもれた。

前頁から続く

結果53件が助成にもれた。区民の9割が住んでいる集合住宅で防犯対策が進むよう、助成枠を増やすなどの工夫が必要。

Table with 4 columns: Party Name, Phone Number, Fax Number, and Contact Information. Includes parties like 自民党, 公明党, フォーラム, and みらい.

代表・一般質問の全文をご覧になりたい方は、港区議会ホームページをご覧ください。現在、第2回定例会及び平成20年度予算特別委員会の会議録まで掲載しています。



採択とした請願

▼「(仮称)西麻布計画」に関する請願

▼「(要旨)地域の住環境と人々の安全を守るため、港区西麻布三丁目一〇六番外(地番)に建設予定の「(仮称)西麻布計画」の建築主に対して、地域住民の理解が得られる説明会を開催するよう、行政から強く指導されたい。麻布地域に「ちいばす」の運行を求める請願

▼「(要旨)区役所、麻布地区総合支所及び麻布地域内の公共施設への交通手段を確保するとともに、障害のある方や高齢者、地域住民の利便性と社会参加向上のため「ちいばす」の麻布地域運行を早期に実現されたい。消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める件に関する請願

▼「(要旨)港区の消費者行政を向上させるため、消費者センターの人員を拡充し、東京都や他の区市町村との連携を強化するなど、消費者行政の体制・人員・予算を抜本的に拡充されたい。

▼「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」を提出することを求める件に関する請願

▼「(要旨)消費者の苦情相談が地方自治体の窓口で迅速かつ適切に行われるよう、消費生活センターの設置や業務等を法的に位置づけるとともに、地方消費者行政を抜本的に拡充・強化するための財政措置をとるよう、政府及び国会に意見書を提出されたい。私立幼稚園保護者の教育費負担軽減に関する請願

▼「(要旨)私立幼稚園保護者の教育費の負担を軽減し、公私立幼稚園の格差を是正するため、平成二十一年度も助成金を支給し、併せて所得制限も撤廃されたい。」「(要旨)「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書」を関係省庁に提出していただくことに関する請願

▼「(要旨)「協同労働の協同組合法」の国会での徹底した議論と速やかな制定を求める意見書を政府に提出されたい。

不採択とした請願

▼後期高齢者医療制度の中止・廃止を求める意見書提出の請願
右の請願は、願意にそいがないとの理由で不採択となりました。

継続審査とした請願

▼「資源循環型社会をめざす清掃事業について」の請願
▼「教育水準を高める為の国の支援策」を求める請願
▼港区芝増上寺周辺の良好な景観と環境保全に関する超高層オフィスビル「(仮称)芝公園プロジェクト」についての請願
▼介護職の待遇改善を求める請願
▼介護に従事する労働者への待遇改善を求める請願
▼三叉路に信号設置または車両規制をする請願
▼「後期高齢者医療制度実施にともなう区民の負担増に対して軽減策を求める」請願

継続審査とした案件

議員提出案件

▼港区における平和行政の推進に関する条例
▼港区子どもの人権オンブズパーソン条例
▼港区立中学校修学旅行費の補助に関する条例



▼「日本映画への字幕付与を求める意見書」

▼港区議会は、政府に対し左記の事項について早急に実施するよう強く求めるものです。
一 誰にでも分かりやすいユニバーサルな規格等を定めた字幕付与のためのガイドラインを策定すること。
一 情報バリアフリー化のため、日本映画や日本語映像ソフトコンテンツへの字幕付与に向けた取り組みを推進すること。
総務・文部科学・経済産業大臣・文化庁長官 あて

▼「新型インフルエンザ対策の強化に関する意見書」

▼港区議会は、政府に対し新型インフルエンザ対策を強化するとともに、国民への十分な啓発に努めるよう強く求めるものです。
文部科学・厚生労働大臣あて
東京都下水道局の芝浦水再生センターの上部利用に関する要望書

▼芝浦水再生センター再構築に伴う整備に当たり、港区の長年の要望であるD面の覆蓋化については、従来からの協議の経緯を踏まえ、区民の意向が十分反映されるスポーツ・レクリエーション機能を持った公園となるよう、早期に完成することを強く要望します。
東京都知事 あて

▼「地方消費者行政の拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を求める意見書」

▼港区議会は、政府に対し、消費者が主役となる消費者行政を実現するため、次の施策及び措置を講ずるよう強く求めます。

一 消費者の苦情相談が、地方自治体の消費生活相談窓口で適切な助言・あっせん等により解決されるよう、消費生活センターの権限を法的に位置づけるなど必要な法制度の整備をすること。
一 消費者被害情報の集約体制を強化し、国と地方のネットワークを構築すること。
一 地方消費者行政の体制・人員・予算を抜本的に拡充強化するための財政措置を講ずること。
総務・消費者行政担当大臣あて

▼「(仮称)協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書

▼港区議会は、政府に対し、社会の実情を踏まえ、就業機会の創出や地域の再生への有力な制度として、「(仮称)協同労働の協同組合法」を速やかに制定するよう強く求めます。
総務・厚生労働・経済産業大臣あて

▼「事故米問題の全容解明と米の流通管理の徹底等」を求める意見書

▼港区議会は、政府に対し日本の主食である米と食の安全を確保するため、左記の対策を講ずるよう強く求めます。
一 事故米の流通経路等、事件の全容を解明するとともに、その情報を公開すること。
一 政府の責任において、米の流通管理を徹底すること。
一 国民の主食である米の生産及び安定供給ができるよう支援策を講ずること。
農林水産消費者行政担当大臣あて

▼「地球温暖化対策に関する意見書」

▼港区議会は、政府に対し先進国としての役割に相応しい温室効果ガス削減の中期目標を早期に確立することを強く求めるものです。
経済産業・環境大臣 あて

常任委員会の活動記録

総務

●議案第66・67号 一般会計補正予算、補正額29億1915万円
●議案第68号 一般会計補正予算、補正額2億8647万2千円
●主な質疑 志田町保育園施設及び用地の今後の活用方法等、介護保険料軽減策の財源等
●議案第73号 (仮称)こうなん星の公園自転車駐車場整備工事の工事請負契約の承認
●主な質疑 自転車駐車場の管理方法及び運営方法等
●議案第74・75・76・77号 港南小学校改築工事、電気設備工事、空調調和設備工事、給排水衛生ガス設備工事の工事契約の承認
●主な質疑 人口推計を基準とした教室数の確保、災害時用マンホールトイレの設置、自然エネルギーを活用した施設設備等
●議案第84号 男女平等参画センターの指定管理者を指定するもの
●主な質疑 選考委員会の委員数及び公募委員の割合、公正、透明性のある選考委員会のあり方と議事録の公開等
●閉会中の委員会における活動
○主な報告事項 9号及び議案第56・58・72・78・79号を審議

●議案第85号 障害者住宅の指定管理者を指定するもの
●議案第86号 障害者住宅の指定管理者を指定するもの
●主な質疑 障害者・高齢者への配慮ある提案の具体的な内容等
●議案第87号 生活寮の指定管理者を指定するもの
●主な質疑 応募が一事業者のみであったことに対する区の認識等
●議案第88号 健康増進センターの指定管理者を指定するもの
●主な質疑 選考委員の選定基準及び公認会計士が選考委員に含まれていない理由等
●閉会中の委員会における活動
○主な報告事項 港区アクティブシニア就業支援センター運営事業者の公募、平成二十年度東京都気管支ぜん息患者に対する医療費助成の対象年齢の拡大等の報告を聴取し、質疑を行い、意見を述べた。

●議案第63号 港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について、環状第二号線新橋・虎ノ門地区地区整備計画の都市計画決定の変更に伴う規定の整備
●主な質疑 容積率の最低限度を引き上げる理由等
●議案第80・81・82号 特定公共賃貸住宅、区営住宅、区立住宅の指定管理者を指定するもの
●主な質疑 応募団体からの危機管理体制に関する提案の具体例等
●閉会中の委員会における活動
○主な報告事項 区立白金台どんぐり児童遊園じゃぶじゃぶ池におけるレジオネラ属菌検出、環状第二号線新橋・虎ノ門地区第二種市

建設

●議案第63号 港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について、環状第二号線新橋・虎ノ門地区地区整備計画の都市計画決定の変更に伴う規定の整備
●主な質疑 容積率の最低限度を引き上げる理由等
●議案第80・81・82号 特定公共賃貸住宅、区営住宅、区立住宅の指定管理者を指定するもの
●主な質疑 応募団体からの危機管理体制に関する提案の具体例等
●閉会中の委員会における活動
○主な報告事項 区立白金台どんぐり児童遊園じゃぶじゃぶ池におけるレジオネラ属菌検出、環状第二号線新橋・虎ノ門地区第二種市

区民文教

●議案第61号 財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団に対する助成に関する条例の一部を改正する条例について、「民法」の一部改正及び公益法人制度改革に伴う規定の整備
●主な質疑 公益財団法人に認定申請する意思の有無等
●議案第83号 区民センターの指定管理者を指定するもの
●主な質疑 指定管理者候補者に応募した事業者の業種について等
●議案第89・90号 生涯学習センター、生涯学習館の指定管理者を指定するもの
●主な質疑 港区スポーツふれあい文化健康財団が指定管理者候補者となった区民センターと、生涯学習二施設で、財務状況評価結果が異なる理由等
●議案第91・92・93号 区立運動場、スポーツセンター、区立武道場の指定管理者を指定するもの
●主な質疑 港区スポーツふれあい文化健康財団が共同事業体を組んで応募した理由等
●閉会中の委員会における活動
○主な報告事項 港区在住外国人のニーズ調査の実施、港区立芝浦小学校・芝浦幼稚園の移転候補地確保の進捗状況及び旧朝絵小学校跡地等の報告を聴取し、質疑を行い、意見を述べた。

特別委員会の活動記録

交通環境等対策ごみの分別変更に係るガイドブック行政等対策支所の組織・執行体制の充実策エレベーター事故対策港資源化センターのエレベーター事故等を聴取し、質疑を行い、意見を述べた。

決算特別委員会

＝各会計決算の概要＝

会計別	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	1102億7810万4134円	1034億6201万9828円	68億1608万4306円
国民健康保険事業会計	206億4998万3550円	190億9436万6531円	15億5561万7019円
老人保健医療会計	126億8850万1301円	126億8850万1301円	0円
介護保険会計	99億1565万7763円	96億4675万6429円	2億6890万1334円
総計	1535億3224万6748円	1448億9164万4089円	86億4060万2659円

9月19日の本会議において、全議員34名で構成する「平成19年度決算特別委員会」のくま正一委員長、杉原としお副委員長、古川伸一副委員長を設置し、9月29日から10月8日まで審議が行われました。

委員会では、平成19年度各会計（一般会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療会計、介護保険会計）歳入歳出決算の4案に対する活発な質疑を行った後、各会派の態度を表明しました。

その後、第3回定例会最終日の10月10日、本会議において、決算4案をそれぞれ賛成多数で認定しました。

各会派の主な質問・要望事項

自民党議員団

《議会費》議会の活性化《総務費》港区のPRと区民の行政意識について、区役所・支所改革後の課題と効果について、防災マップと提携について○災害時の民間協力について、青色回転灯整備車について○外国の被災地に対する義援金について○総合支所の独自事業について、六本木五丁目再開発について○防災について（マンホールトイレ・備蓄食糧について）○区の情報セキュリティ対策について○区有施設の公共料金の契約について○旧三河台中学校跡地の活用検討について○避難所運営と学校との連携、避難所の設備・備品の充実について、赤坂氷川山車の保存と展示について○高層住宅の防災対策について、災害発生時の初動態勢確保について（司令塔になるべき管理職等の区内居住について）《環境清掃費》みなど区民の森づくりの現状と今後について、エコプラザとみなど環境にやさしい事業者会議について、事業系ごみの問題・ごみ軽減対策について○地域で取り組むCO2削減活動について、第二世代バイオディーゼル燃料の導入について○資源プラスチック回収について、自区内中間処理の実現について、環境に配慮した区施設の整備について《民生費》チャレンジコミュニティ大学について○介護事業者のネットワーク構築について、知的障害者グループホームについて○高齢者世帯の住宅問題について（民間賃貸住宅斡旋事業、高齢者向け住宅の応募状況・入居希望調査について）○盲導犬のケアについて、福祉車両購入費助成事業の実績について（実施事例、助成実績と今後の見込み）○子ども医療費助成について（高額療養費と事業報告について）○長寿を祝う「100歳訪問事業」について（100歳訪問事業の実施状況と事業のPR等について）《衛生費》救急医療の現状について○母親学級、両親学級について（母親学級の土日開催について、両親学級の土曜開催が少ない理由、仮庁舎での土日開催について）《産業経済費》産業デザイン活用

支援について（デザインを活用した事業、子ども向けデザインワークショップ）、産業振興課発行の印刷物について（商店街案内シリーズ、まち歩きマップ、商店グランプリ受賞店舗ガイド等）○業歴を有する事業者への支援制度の創設について○緊急融資制度について（新形態の銀行との提携、期間限定での無利子の融資の実施、空き店舗対策○六本木商店街変身戦略プログラム事業について（安全安心な街づくり事業への反映）○産業振興プランの今後の推進について（新産業振興プランの策定状況について）《土木費》屋外広告物について（許可件数と区の現状認識、企業の社会貢献活動の広告）○児童遊園のあり方について（公園と児童遊園の違いについて、灰皿設置状況と禁煙エリア、トイレ設置の考え方）○天空率使用について、都立芝公園の整備について○赤坂中学校内の歩行者用道路について（通行の告知）、スケアード・ストリート教育技法について、自転車運転免許証について○建築紛争予防条例と近隣説明会の説明者について（代理業者による説明会の実施状況と威圧的な態度の説明者への対応）《教育費》東京オリンピックの誘致活動について、スポーツ・文化・生涯学習行政のあり方について○新郷土資料館の設置場所について、歴史教科書の選定について○給食について（米飯給食、米粉パン給食）○朝日中学校と小中一貫教育について○芸術の教育普及とミュージアムネットワークについて、放課後↓について○芝小中学校の運動場について《国保事業会計》葬祭費について（医療制度・国保での葬祭費の支払い）《総括》区役所・支所改革後の課題と改善策・支援組織の見直しについて、スポーツ・文化行政について、財政運営について、地域福祉の担い手について、子ども関連の施設整備について、産業振興について（中小企業従業員の福利厚生事業）、都立芝公園の管理について、学習指導要領の改訂について

公明党議員団

（歳入）予算編成と執行管理の適正化について・財政健全化法について・収入済額と支出済額について・財調協議の進捗状況と区の見解について・特別交付金の標準算定について（総務費）現在の施設管理について・総合支所と施設管理のかわりについて・施設管理と公共施設改築計画について・高齢者の住民税控除申告について・行政評価制度について・家具転倒防止器具助成事業の周知について・高層マンションの防災対策について・防犯設備助成の拡大について・CATVに字幕を表示する事について・地上デジタル放送の支援について・文化芸術活動助成事業について・区役所改革に伴う人材育成について・わかりやすい予算概要書と財政レポートの作成について（環境清掃費）落書き禁止条例の制定について（民生費）障害者のスポーツ振興と表彰制度について・医療的ケアの必要な人達の支援について・肢体不自由特別支援学校高等部の送迎支援について・社会的ひきこもりに対する自立支援策について・

独居高齢者の孤独死対策について・子供の地域への意見の表明について・子育てしやすい社会の構築について（産業経済費）原油、原材料価格高騰による中小企業支援策について（衛生費）特定健康診査（メタボ健診）について・がん予防と健康バスポート事業の提案について（土木費）芝浦港南のまちづくりについて・高齢者の運転免許証自主返納事業の提案について・道路交通法改正に伴う自転車安全走行について・コミュニティバスの運行について・青山一丁目駅のエレベーター設置の進捗状況について（教育費）子供に対する交通安全教育について・小中学校の英語教育について・発達障害の特別支援教育について・肢体不自由特別支援学校へのスクールカーでの送迎について（総括質問）自殺の予防策について・発達障害児の啓発事業について・エコポイント事業の啓発について・景観条例と景観計画について・地域の教育力向上について・中小企業に対する事業承継制度

みらい

増え続ける貯金1223億円、19年度の余剰101億円。極めて豊かな財政状況の今、区役所の仕事を膨らませない行政改革推進の立場で審議に臨んだ。

・「民」の多様な視点や専門性、柔軟性をさらに活かす。豊かな財政活用は「未来への先行投資」の視点を重視せよ。

・一人あたり人件費が年間80万～90万円を超える電話交換や運転、土木作業業務などは、早急に委託化を図れ。

・区民保養事業は一人一泊最大一万円近い補助金支出と同様。区外者の利用実態もある。回数や所得を限定した補助制度への移行を検討せよ。

・資源プラスチック回収経費は半年間で6億円以上。ごみ減量効果や財政効果等、費用対効果を予め示すべきだった。また、環境負荷軽減効果も区民に示せ。

・キスポート財団関連の指定管理者の選考は、選考委員の採点を合計すると結果が逆転。疑念の残る選考結果だ。

・通学路パトロールの充実を。

・放置自転車解消を、より低コストで高い効果を目指せ。

平成19年度



監査委員の審査意見(要旨)

厳しい財政運営が続くなかで、財政の建て直しに窮している自治体もあるが、本区は、「港区財政運営方針」に基づく早急からの取組みにより、平成19年度も引き続き健全財政を維持した。

しかしながら、収入の根幹をなす特別区民税収入が、三位一体の改革により、8年ぶりに減少に転じており、今後の収入動向を十分に注視する必要がある。

全国の自治体の中では恵まれた財政構造にある港区は、区民が豊かさや安心を実感できる、きめ細かな施策の展開が可能である。

区民ニーズの的確な把握と、区民福祉の更なる向上を目指し、今後も、強固な財政基盤を維持するとともに、弾力的な財政運営が図られることを期待する。

各会派の主な質問・要望事項

フォーラム民主

【総務費】①子供の防犯対策について②選挙の啓発について③みなとタバコールの入札について④生活安全・環境美化活動推進事業の成果は⑤土日の窓口サービスについて⑥防災行政無線の年間放送回数・内容のホームページ掲載・放送内容確認電話の周知について⑦指定管理者制度について⑧総合支所長の専任と副総合支所長設置を⑨危機管理・国民保護について⑩朝鮮半島不測事態への対応は【環境清掃費】①電気自動車を導入し普及啓発を②区内事業者や家庭における省エネの取組みについて③六本木地区におけるゴミの不法投棄について④港区生物現況調査の概要は⑤珍しい生き物や絶滅危惧種の発見は【民生費】①保育園の安全確保について②成人式のあり方について③育児支援家庭訪問事業について④認証保育所の園外活動について⑤志田町保育園の改善について【衛生費】①乳幼児の健康診査について②六本木地区の夜間営業している移動式屋台について③幼児・成人歯科検診について④新生児・妊婦訪問指導について【産業経済費】①ものづくりを守る②産業文化の育成を③出前経営相談について④観光情報の発信は⑤プレミアム商品券の発行額の拡大について【土木費】①アドプト・プログラム、区境での活動支援は②神戸市都賀川水難事故を教訓に河川の安全は③公衆便所の維持管理について④公園での撮影許可条件について⑤都立芝公園にドッグランの設置を⑥子供の水遊び場について【教育費】①学校施設の改築計画は②小学校に送られた「不審な手紙」事案で、その後の登下校安全対策と捜査状況は③学校法律相談について相談事例・成果・改善点は④体育館のエアコン整備について⑤教科書における領土の表記は⑥教員の独自採用について⑦学校選択希望制について⑧地域特性を活かした学校教育を【総括質問】①港区史上最高の基金残高について②みなとタウンフォーラムについて③各総合支所の独自事業について④港区の環境対策について⑤高齢者の孤独死対策について⑥男女平等推進施策について

共産党議員団

◎汚染米の調査を行うこと◎区役所内に雇用相談窓口を◎若者インテリゲンシップの拡大を◎高齢者宅を訪問し資源プラスチック回収の説明を◎プラスチックの資源回収を事業所にも周知すべき◎「ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを」の活動支援を◎庁有車にアイドリングストップ装置を◎区民参加の会議参加者への災害補償を◎赤坂氷川山車の復元、修復に10割補助を◎地デジ対策として区独自に相談活動や弱者対策を◎障害者インテリゲンシップの訓練の場を◎療養型病床の削減をやめるよう国に申し入れよ◎区として知的障害者、精神障害者の雇用を◎必要な人に紙おむつの支給を◎高齢者健康トレーニングの回数を増やすこと◎同居家族がいることを理由に介護保険の「生活援助」サービスを排除するな◎介護保険料を引き上げるな◎孤独死対策を◎福祉会館の各種教室の講師料支援を◎全保育園に警備員の配置を◎高齢者宅を訪問し家具転倒防止機器の設置を◎区民健診の充実を図れ◎ちいばす路線の拡大を◎マンホールトイレ設置を急げ◎雨水流出抑制対策を◎公衆トイレの清掃回数を増やせ◎駐輪場は2時間まで無料で◎事業者にビル風対策を求めよ◎天空率を活用した建築計画は説明の義務づけを◎建築説明会は建築主、設計者が責任を持つてやるよう指導を◎私道整備の幅員制限廃止を◎都立芝公園の小川の復活を◎「森の公園」にデイキャンプ施設の整備を◎全国一斉学力テストは廃止を◎30人学級を実施するよう東京都に申し入れよ◎区が実施している36人以上の教室に配置している講師を30人以上に配置すること◎リーディングアドバイザーリストアップの日数増を◎古くなった学校の冷房は早期改修を◎新郷土資料館の早期建設を◎地域の文化団体活動に助成を◎埠頭少年野球場・北埠頭グラウンド(区移管を)の整備を◎AEDを都営住宅等の住民組織に貸与を◎「平和の取り組み」を区民に広く知らせよ◎東京海洋大学グラウンドの区民開放を

平成19年度決算に対する

各会派の態度表明

港区の将来に向けて安定した区民サービスを行いながら、さらに積極的に先駆的施策に取り組むためにも、今後、財政基盤の確立に努めていただくことを要望します。決算特別委員会での審議を通じて、我が会派から出された意見並びに要望等が、平成21年度予算に反映されることを期待して、議案4案につきましては、いずれも認定します。

決算審議の中で我が会派が述べました意見、要望、提案につきまして、来年度予算に十二分に反映されることを強く要望いたしまして、平成19年度決算4案につきましては、いずれも認定します。

区長も第二期に入り、好調な財政状況を追い風に、総合支所制度の充実と地方自治の拡大、福祉と環境先進区であることを踏まえ、リーダーシップを発揮していただきたいと思えます。決算審議における我が会派の意見、要望、提案が、来年度予算に確実に反映されることを要望し、議案68号平成19年度港区一般会計歳入歳出決算」を初めとする4案について、いずれも認定します。

区の財政は黒字続き、基金も過去最高と、全国トップクラス。区は再開発事業に今年度31億円、今後9年間で200億円もの税金投入を計画。景観・環境を破壊し、防災上も問題の超高層・大規模開発に熱心な一方、区民の暮らしには冷たい態度をとり続けている姿勢は認められることは出来ない。我が党は、福祉優先の区政実現に奮闘する。

決算4案は認定した。その上で、①今のみでなく未来への視点をもって、有形無形の未来への投資を重視した区政運営を行うこと、②「公」を担うのは行政(区役所)だけではないという姿勢をさらに明確にすることを、区長に強く求めた。豊かな財政状況の今、区民・納税者の視点で、行政の肥大化を抑える姿勢を貫き、区政の厳しい精査と積極的な政策提案を続ける。

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

案件名	自民党議員団	公明党議員団	フォーラム民主	共産党議員団	みらい	議決結果
区長報告第7号 専決処分について(港区議会における政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
区長報告第8号 専決処分について(港区議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
区長報告第9号 専決処分について(損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	承認
議案第56号 公益法人等への港区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第57号 港区特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第58号 港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第59号 財団法人港区住宅公社に対する助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第60号 財団法人港区勤労者サービス公社に対する助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第61号 財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団に対する助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第62号 災害時において応急措置の業務等に従事した者に係る損害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第63号 港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	原案決
議案第64号 港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第65号 港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案決
議案第66号 平成20年度港区一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	原案決
議案第67号 平成20年度港区介護保険会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	原案決
議案第68号 平成19年度港区一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	認定
議案第69号 平成19年度港区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	認定
議案第70号 平成19年度港区老人保健医療会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	認定
議案第71号 平成19年度港区介護保険会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	認定
議案第72号 工事請負契約の承認について(港区麻布地区総合支所空調換気設備改修工事)	○	○	○	○	○	原案決
議案第73号 工事請負契約の承認について(仮称)こうなん星の公園自転車駐車場整備工事)	○	○	○	○	○	原案決
議案第74号 工事請負契約の承認について(港区立港南小学校改築工事)	○	○	○	○	○	原案決
議案第75号 工事請負契約の承認について(港区立港南小学校改築に伴う電気設備工事)	○	○	○	○	○	原案決
議案第76号 工事請負契約の承認について(港区立港南小学校改築に伴う空調設備工事)	○	○	○	○	○	原案決
議案第77号 工事請負契約の承認について(港区立港南小学校改築に伴う給排水衛生ガス設備工事)	○	○	○	○	○	原案決
議案第78号 物品の購入について(図書館資料自動貸出機)	○	○	○	○	○	原案決

案件名	自民党議員団	公明党議員団	フォーラム民主	共産党議員団	みらい	議決結果
議案第79号 物品の購入について(エックス線デジタル撮影装置一式)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第80号 指定管理者の指定について(港区特定公共賃貸住宅)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第81号 指定管理者の指定について(港区営住宅)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第82号 指定管理者の指定について(港区立住宅)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第83号 指定管理者の指定について(港区立区民センター)	○	○	○	×	×	原案可決
議案第84号 指定管理者の指定について(港区立男女平等参画センター)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第85号 指定管理者の指定について(港区立高齢者集合住宅)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第86号 指定管理者の指定について(港区立障害者住宅)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第87号 指定管理者の指定について(港区立生活寮)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第88号 指定管理者の指定について(港区立健康増進センター)	○	○	○	×	×	原案可決
議案第89号 指定管理者の指定について(港区立生涯学習センター)	○	○	○	×	×	原案可決
議案第90号 指定管理者の指定について(港区立生涯学習館)	○	○	○	×	×	原案可決
議案第91号 指定管理者の指定について(港区立運動場)	○	○	○	×	×	原案可決
議案第92号 指定管理者の指定について(港区立スポーツセンター)	○	○	○	×	×	原案可決
議案第93号 指定管理者の指定について(港区立武道場)	○	○	○	×	×	原案可決
請願第11号 「(仮称)西麻布計画」に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願第12号 麻布地域に「ちいばす」の運行を求める請願	○	○	○	○	○	採択
請願第13号 消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める件に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願第14号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」を提出することを求める件に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願第15号 私立幼稚園保護者の教育費負担軽減に関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願第16号 「(協同労働の協同組合法(仮称))の速やかな制定を求める意見書」を関係省庁に提出していただくことに関する請願	○	○	○	○	○	採択
請願第17号 後期高齢者医療制度の中止・廃止を求める意見書提出の請願	×	×	×	○	×	不採択
発案第13号 港区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例	×	×	×	○	×	否決
発案第11号 日本映画への字幕付与を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
発案第12号 新型インフルエンザ対策の強化に関する意見書	○	○	○	○	○	原案可決
発案第13号 東京都下水道局の芝浦水再生センターの上部利用に関する要望書	○	○	○	○	○	原案可決
発案第14号 地方消費者行政の拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
発案第15号 「(仮称)協同労働の協同組合法」の速やかな制定を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
発案第16号 事故米問題の全容解明と米の流通管理の徹底等を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
発案第17号 地球温暖化対策に関する意見書	○	○	○	○	○	原案可決
議案第94号 港区教育委員会委員の任命の同意について(高橋 良祐氏)	○	○	○	×	○	同意

議会傍聴時の保育のおしらせ

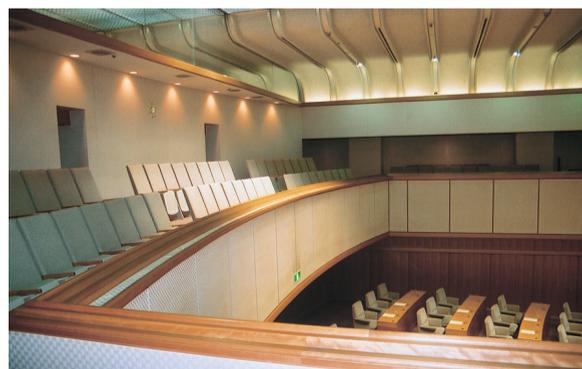
区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりします。

傍聴しようとする会議の開会3日前(土・日、祝祭日を除きます)までに区議会事務局へ電話等でお申し込みください。なお、会議の開会予定については区議会ホームページ、ポスター等でご案内いたします。

【申し込み・問い合わせ先】

区議会事務局調査係

電話3578-2920



議会とはどなたでも傍聴できます

区議会の会議は、公開されています。本会議、委員会とも傍聴できますので、ぜひお出かけください。本会議は議会棟6階の傍聴席入口で、委員会は各委員会室で傍聴申込書に住所・氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、お入りください。傍聴を希望される方は、当日の会議予定を区議会事務局にご確認の上、お出かけください。

◎問い合わせ

区議会事務局議事係
電話(3578)2111
内線2915・2917

◆委員会の委員の変更

議会運営委員会(8月13日付)

阿部 浩子

(フォーラム民主) 辞任

樋渡 紀和子

(フォーラム民主) 選任

【議員の住所変更】

鈴木 たけし

住所 麻布十番2-9-8-405

電話 3451-9208

あとがき

▼第4回定例会は11月下旬に開会する予定です。

編集委員

副議長 風見利男

水野むねひろ

熊川ちづ子

古田伸一郎

小山齊太郎